

- 問1 日本の工業統計において、長野県の製造品出荷額等の内訳を説明した資料を想定します。県内の出荷額で第1位となっている産業と、その産業が内陸部である長野県で発達した理由の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 食品：広大な盆地を利用した大規模な稲作と、沿岸部からの魚介類の加工が伝統的に行われてきたため。 | 2. パルプ・紙：豊富な森林資源を背景に、江戸時代から続く伝統的な製紙技術が近代化されたため。 | 3. 輸送用機械：大型船舶での輸出に便利な広大な港湾設備が整備され、原材料の輸入が容易であるため。 | 4. 電子部品・デバイス：高速道路網の整備と、精密な加工に適した清涼な空気や水、高度な技術の蓄積があったため。 |
|--|---|---|---|
- 問2 人口約119万人の県庁所在地を持つこの都道府県の都市交通について、1994年以降の動向や公共交通機関の特徴を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 県庁所在地では路面電車が運行されており、1994年以降は丘陵地の住宅地と都心を結ぶ新たな鉄道も導入されている。 | 2. 都心部の交通渋滞を解消するためにすべての路面電車が廃止され、1994年からは地下鉄網の整備に一本化された。 | 3. 1994年以降、東海道新幹線のすべての駅と県庁所在地を結びリニアモーターカーが丘陵地を貫いて運行されている。 | 4. 県庁所在地では路面電車に代わる移動手段として、山間部から都心へ木材を運搬するための貨物専用鉄道が1994年に開通した。 |
|--|--|---|--|
- 問3 日本の都道府県別の統計において、2005年および2010年の男性の平均寿命がともに全国で第1位を記録した都道府県はどこですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 滋賀県 | 2. 沖縄県 | 3. 長野県 | 4. 神奈川県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問4 中部地方に位置する、ある県の産業と地理的特徴について述べた文として正しいものはどれですか。なお、この県は、県内の鉄道営業距離が295 km、県庁所在地の人口が約27万人という統計資料が得られる地域です。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 兼六園に代表される歴史的な景観を持ち、金箔や漆器などの伝統工芸品の製造が盛んである。 | 2. 若狭湾に見られるようなリアス海岸の地形を有し、眼鏡フレームの生産が盛んな平野部を持つ。 | 3. 日本最大の砂丘である鳥取砂丘があり、梨の栽培などの農業が平野部で盛んに行われている。 | 4. 立山連峰を望む富山湾に面しており、豊富な水資源を利用したアルミニウム工業が発達している。 |
|---|--|---|---|
- 問5 日本の地域構成において、中部地方（北陸地方）に属しながらも、地理的に近畿地方と隣接し、古くから京都などの近畿圏との経済・文化的な結びつきが強い県の名称として適切なものはどれか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 富山県 | 2. 福井県 | 3. 石川県 | 4. 新潟県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 甲府盆地などの扇状地で、水田ではなくぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われている土地利用の理由として最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 砂利が多く水はけが良い土壌のため水田に適さず、果樹栽培に適しているから。 | 2. 川が頻繁に氾濫するため、稲作を行うことが技術的に不可能だから。 | 3. 地下水が豊富で常に地面が浸水しているため、果樹しか育たないから。 | 4. 平坦な土地が広大であり、大型農業機械を使った果樹の大量生産に向いているから。 |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|---|
- 問7 北陸地方に位置する福井県について、地理的特徴や近年の変化を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本海沿いではなく内陸部に位置しているため、北陸新幹線のルートからは外れている。 | 2. 北陸地方の西部に位置しており、北陸新幹線の延伸によって首都圏との所要時間が短縮された。 | 3. 北陸地方の東端に位置しており、関東地方と接しているため古くから新幹線が整備されていた。 | 4. 中部地方ではなく近畿地方に属しており、大阪や京都とのつながりはあるが北陸地方とは交流が少ない。 |
|---|--|--|--|
- 問8 棚田は、現代の農業においては大型機械の導入が難しく、生産効率が低いという課題がありますが、各地で保存活動が行われています。その理由として、棚田が持つ機能について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 冷涼な気候を利用して、都市向けの高冷地野菜を栽培するための拠点としての役割 | 2. 保水能力によって洪水を防いだり、日本の伝統的な景観を維持したりする役割 | 3. 堤防で囲むことによって、海抜ゼロメートル地帯を塩害から守る役割 | 4. 山地を平坦な土地に改良することで、大規模な米の増産を可能にする役割 |
|--|--|------------------------------------|--------------------------------------|
- 問9 山梨県は東京都に隣接しており、中央自動車道やJR中央本線などの主要な交通網が整備されていますが、新幹線の状況については他の周辺自治体と異なる特徴があります。山梨県の新幹線に関する現在の状況と今後の計画について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 現在、県内に新幹線の路線や駅は存在しないが、リニア中央新幹線の駅が設置される計画が進んでいる。 | 2. 上越新幹線の開通によって、首都圏との移動時間が大幅に短縮された。 | 3. 東海道新幹線が県南部をわずかに通過しているが、駅は設置されていない。 | 4. 北陸新幹線の延伸ルートに含まれており、県庁所在地に新駅が建設中である。 |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|--|
- 問10 長野県の八ヶ岳山麓などの標高が高い地域では、夏でも涼しい気候を利用してレタスやキャベツなどの生産が行われています。このように、平地での収穫・出荷が終わった後に市場へ野菜を出荷する栽培方法を何といいますか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 二毛作 | 3. 近郊農業 | 4. 抑制栽培 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問11 中部地方の都市の降水量を示した統計において、他の都市と比較して年間を通じて降水量が少なく、グラフの数値が常に低くなる傾向にある都市とその地理的要因の組み合わせとして、適切なものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 静岡市：太平洋側に位置し、冬の時期に晴天の日が多く、空気が極端に乾燥するため | 2. 金沢市：日本海側に位置し、冬の季節風が山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため | 3. 長野市：山々に囲まれた内陸の盆地に位置し、海からの湿った空気が入り込みにくいため | 4. 浜松市：沿岸部に位置し、海風が常に強く吹いているため雲が発達しにくいから |
|---|---|---|---|
- 問12 北陸新幹線が福井駅から軽井沢駅の間を走行する際、車窓からは中部地方特有の険しい山岳景観を望むことができます。この路線の北側に広がる飛騨山脈が、周辺地域の生活や産業に与えている影響や特徴を説明したものとして、背景や位置関係が最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 飛騨山脈は四国地方と中国地方の境界をなしており、古くから交通の要所としてトンネル整備が進んでいる。 | 2. 飛騨山脈は標高が低く平坦な土地が多いため、新幹線の沿線には広大な工業団地が形成されている。 | 3. 飛騨山脈は大規模な砂防ダムや水力発電所が建設されるなど、急峻な地形を利用した開発が行われてきた。 | 4. 飛騨山脈は太平洋側に位置しているため、冬には乾燥した季節風を遮り、北陸地方に晴天をもたらす要因となっている。 |
|--|--|---|---|